

Iris : HIGH
Lamp Timer : 255

Q U A L I A 004

Q U A L I A 004

Catalogue

プロジェクターとしての理想のために、すべての妥協を排除した。



Q U A L I A 004

[IDEAL OF PROJECTOR]



SONY

INPUT A COMPONENT (1080/60P)
Picture Mode: STANDARD
Color Temp: 6500K
Gamma: 2.2
Contrast: 1000:1
Dynamic Range: 100:1
Low Noise: YES

QUALIA 004

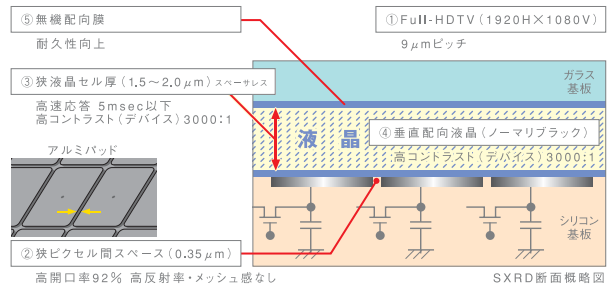


映画フィルムに限りなく近いこと

そのために独自デバイスSXRD (Silicon X-tal Reflective Display) は開発された。

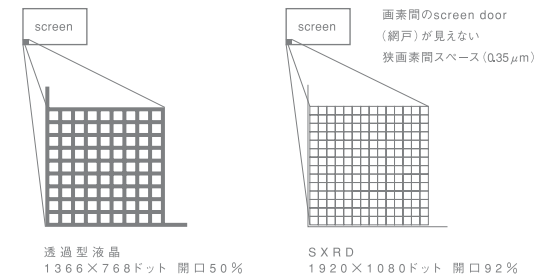
画素間スペース $0.35\mu\text{m}$ 。大画面に引き延ばしてもジャギーやメッシュ感を感じない、高い解像度と開口率。動画時に残像が出にくく、黒から白、赤から青、色彩の一瞬の変化にもすばやく反応する高速応答性。フルHD信号にリアル対応する世界初のリアル・フルHDホームプロジェクター。

SXRDのデバイス技術ポイント



メッシュ感の比較概要図

同ースクリーンサイズによる比較

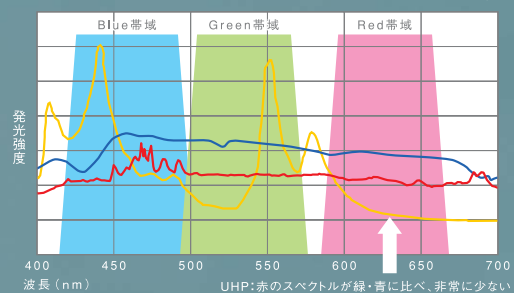




太陽と同等の理想的な光源を持つこと

そのために、ピュア・キセノンランプを搭載した。
あらゆる色を忠実に再現するフラットでナチュラルな
スペクトル。輝く赤、抜ける良い青、美しい肌色。
肉眼で感じる鮮明な色彩。
そこから照射される光は、RGB、すべての照明バスを
等距離に置く「等長イルミネーションシステム」を
通してスクリーンに映し出される。

発光スペクトル比較 — ピュア・キセノンランプ — UHPランプ — 太陽光



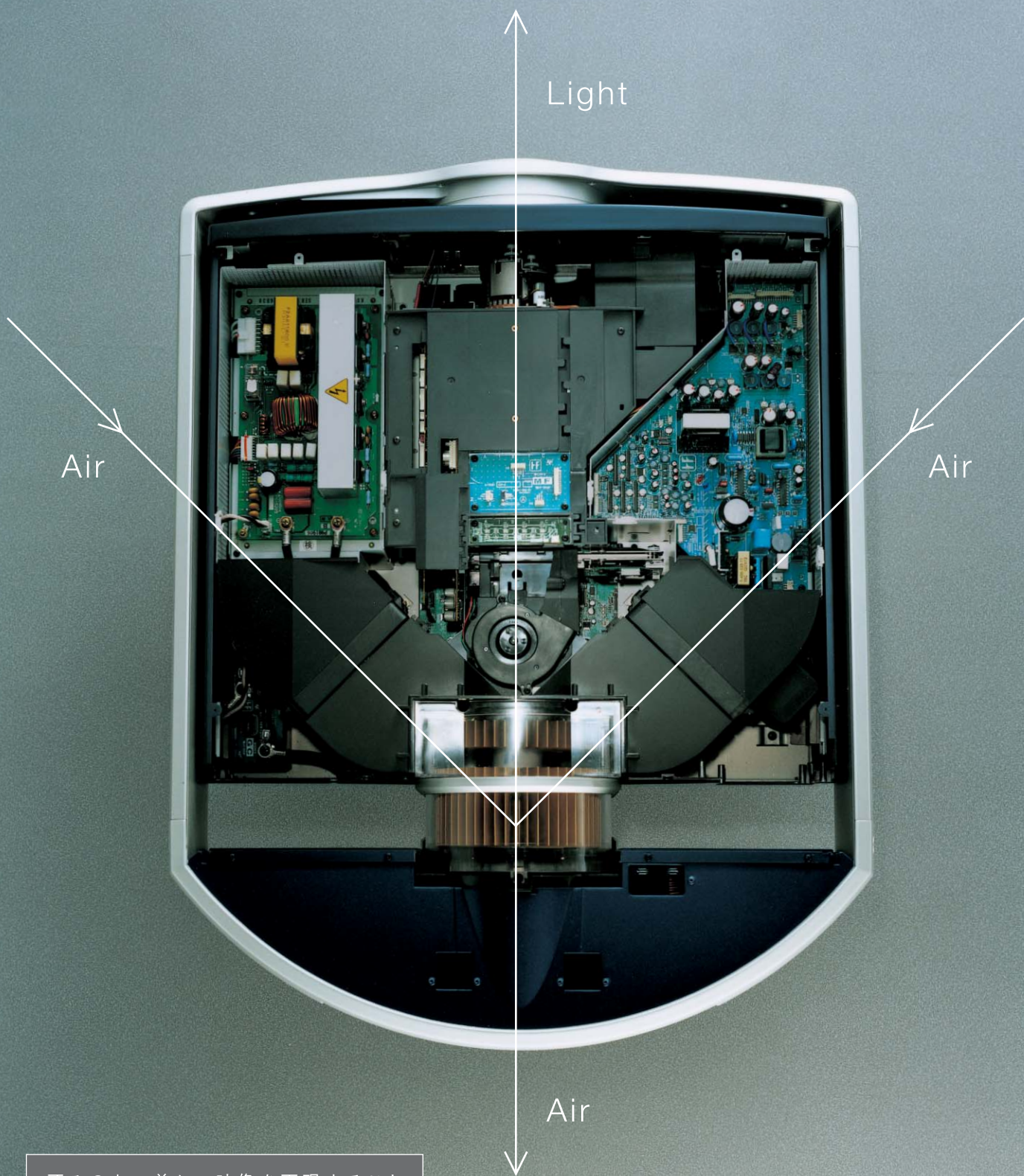


本体上面を覆うブルーのトップカバー。そこから透ける見えない金属。

上部カバーとプロジェクターの内部機構の中間に存在するその金属は、発泡アルミという。

静かで快適な視聴空間を生む遮音性、キセノンランプが発する高熱に対しての断熱性。

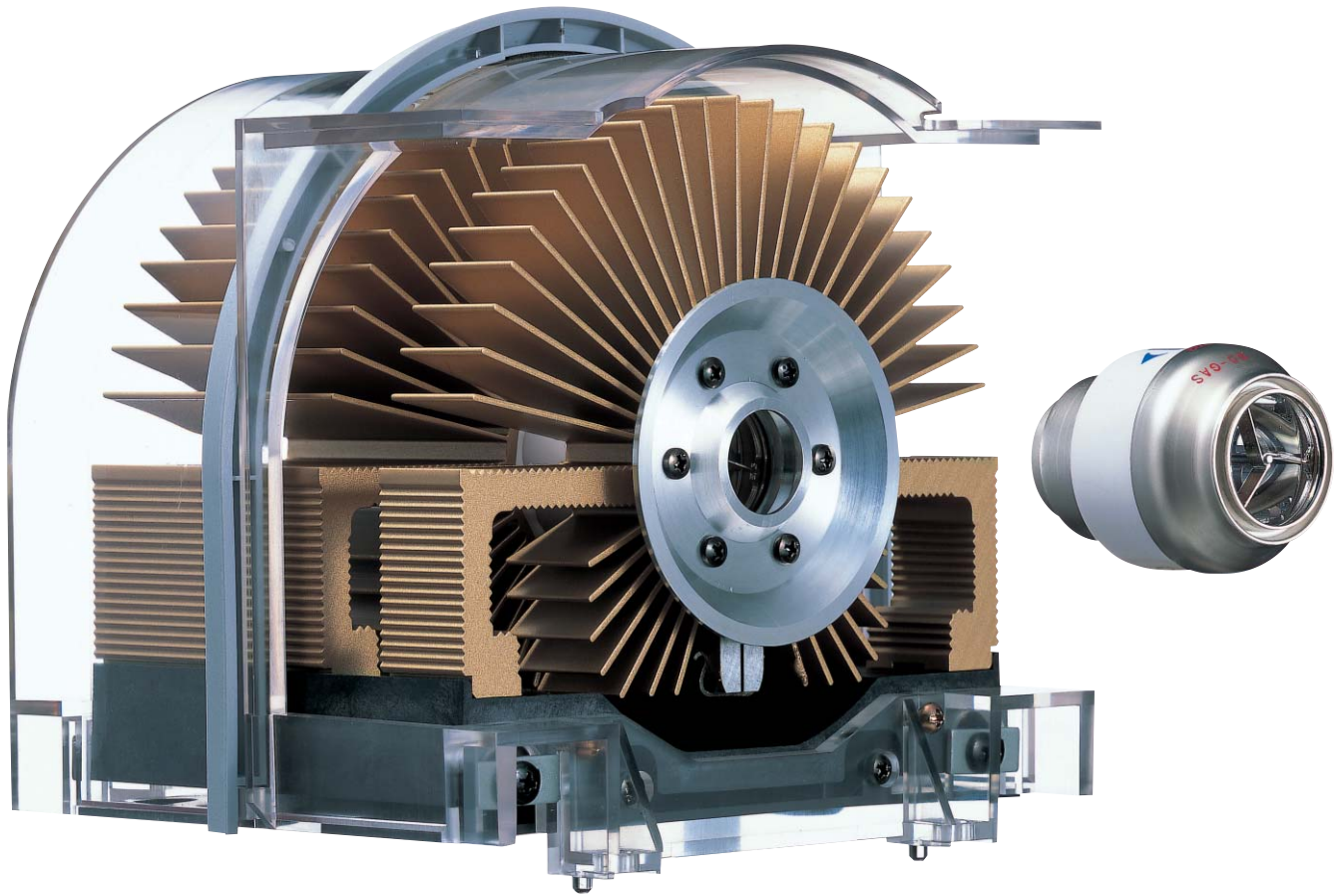
優れた機能性のみならず、極めて軽く、美しい。それは、プロジェクターにとって理想的な内部材だ。



歪みのない美しい映像を再現すること

そのために、光学系は直線構造でなければならない。光源・レンズ・スクリーン。

それらが一直線上に並ぶシンプルな構造。そこに、設置するスペースを考えたの遠慮や、コンパクトさの追求による妥協は一切ない。それは、単純でありながら、実現されがたかった光学系の理想。



Pure Xenon Lamp & lamp burner

プロジェクターにとって理想的とも言えるキセノンランプだが、その取扱いは、非常に難しい。本来の出力が弱いため、使用するにあたって高い電力をかける必要があるが、その際発生してしまう高熱を抑えなければ、ランプ自体を安定に点灯させることすらできない。

放熱塗装ヒートシンクは、そのようなデリケートなキセノンランプを搭載するためになくてはならない機構だった。鈍い光を放つ羽状の構造物。

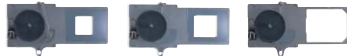
ダクト内に搭載された2機の大ファンで取り込んだ外気を、そこで冷却し、排出する。

シンプルで低抵抗なエアフロー・デザインは、冷却にとって不可避なファン・ノイズを極限まで低減させる。



Optical Iris

照明光路上に配置されたオプティカルアイリス。それはキセノンランプの電力制御とともに「シネマブラックプロ機能」を担っている。絞りを3段階に調節し、部屋の広さやスクリーンサイズに合わせる。部屋の広さやスクリーンサイズに合わせ、黒レベルや明るさを最適な状態に設定することを可能にした。



Carl Zeiss

WIDE・MID・TELE。どのような部屋においても快適な投射環境を実現する三つの焦点レンズ。確実にすばやい固定・着脱を可能にするバヨネットマウント交換レンズシステム。美しい映像の忠実な再現。そのためにレンズが如何に重要であるかは、言うまでもない。



Lens Barrel

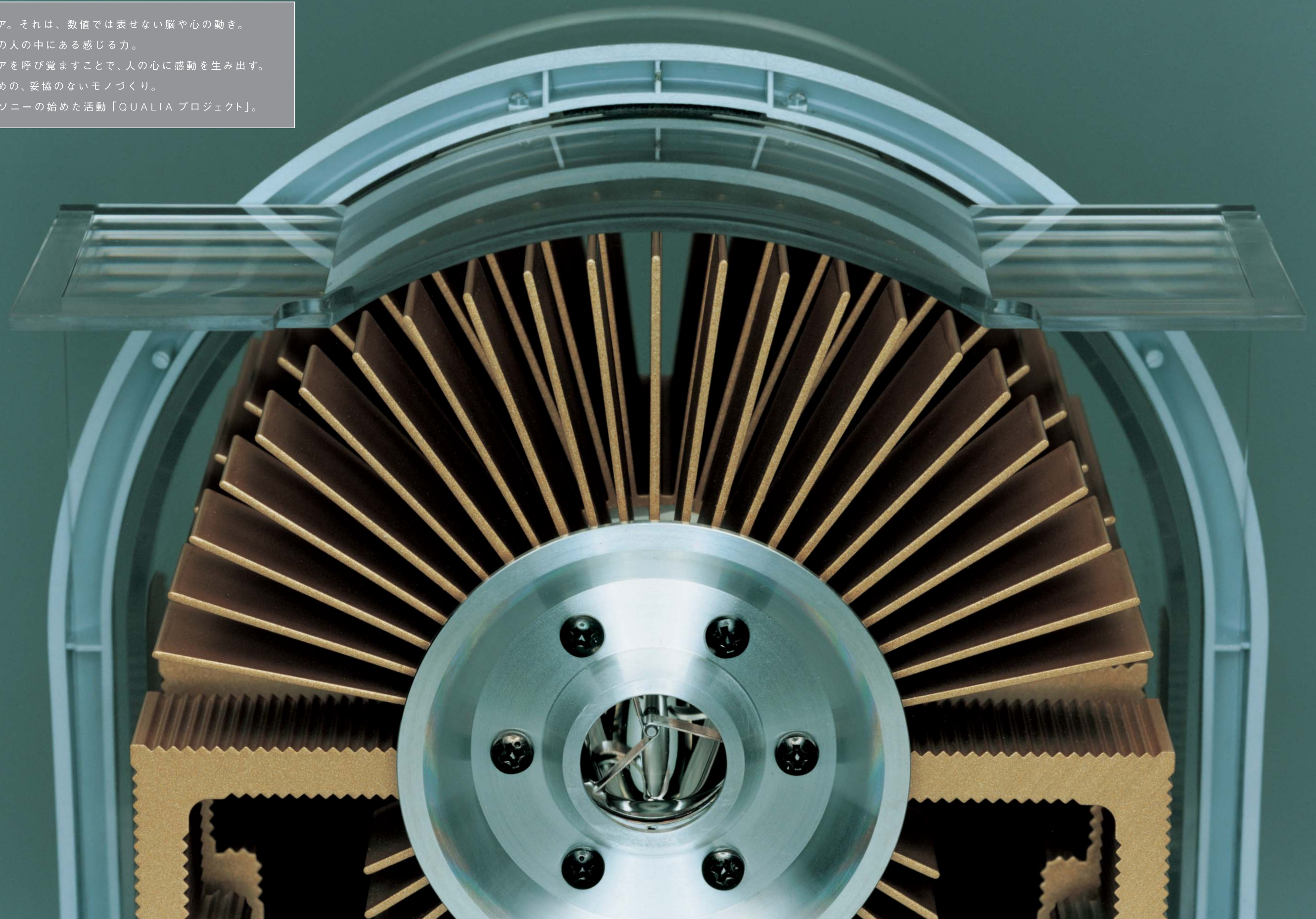
レンズ周りは、鏡筒部分を含め、あらゆる部品の精度を上げる必要がある。レンズ位置が微妙にずれるだけでも光学性能を保つことができなくなるからだ。とりわけ、複数のレンズが組み合わさって1枚のレンズのような働きをする場合には、レンズバレルの精度維持が重要になる。一本一本、超高精度にアルミブロックから削り出されるレンズバレル。個々のレンズ位置を高精度かつ堅牢に固定し、収差のない映像を映し出す。



Mid Zoom Lens

15枚から成るオールガラスレンズ。そのうち実に5枚ものレンズが全面マルチARコートの高透過率を持つED（特殊低分散）レンズで構成されている。特殊な材質や独自の光学技術で色収差を低減させるそのレンズ群は、映像の拡大による色ズレを防ぎ、美しい画像をより大きなスクリーンへ投影することを可能にした。

クオリア。それは、数値では表せない脳や心の動き。
すべての人の中にある感じる力。
クオリアを呼び覚ますことで、人の心に感動を生み出す。
そのための、妥協のないモノづくり。
それがソニーの始めた活動「QUALIA プロジェクト」。





【OFF】



【ON】

「リモートコマンダー」

手に取るだけで自動的に発光する自照式。
ダイレクトキーはあらゆる操作をストレスなくスムーズにする。



QUALIA 004

Model: A
Component: (1000/1000)
Power: 100W
Lamp: 100W
Lamp Time: 2000

SONY

主な仕様	
ディスプレイパネル	0.78型 SXRD (Silicon X-tal Reflective Display) 約622万画素 (2,073,600画素×3枚)
ランプ	ビュア・キセノンランプ
投影画面	40～300型 (対角・16:9)
カラー方式	NTSC／PAL／SECAM／NTSC4.43／PAL-M ／PAL-N自動 ／手動切替
対応信号	15kHzビデオ信号、DTV信号 (525i / 525p / 1125i / 750p) コンピューター信号 (fH: 19～72kHz, fV:48～92 Hz)
映像入力端子	ビデオ入力
	コンポーネント入力
	RGBコンポーネント入力
	DVI-D入力
コントロール系入出力端子	HDMI入力
	コントロールS端子
	トリガー端子
	RS-232Cリモート
電源	ネットワーク端子
	USB端子
	電源
	消費電力
外形寸法	
質量	
主な付属品	

カタログ上のご注意

- カタログ掲載商品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。
- カタログと実際の商品の色とは、印刷の関係で多少異なる場合があります。
- “QUALIA”は、ソニー株式会社の商標です。
- “SXRD”は、ソニー株式会社の商標です。
- 本カタログに記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35
ソニーマーケティング株式会社 〒108-0074 東京都港区高輪 4-10-18

SONY

●QUALIA 商品のお取扱方法、お買物相談、修理、その他のお問い合わせは
QUALIA CALL COUNTER ナビダイヤル 0570-09-0099
(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます。) ●携帯電話・PHSでのご利用は 0466-38-4920 ●受付時間 11:00～19:00 (年末年始を除く)